

東側外観



鳥瞰図



内観イメージ①



内観イメージ②

※内観イメージは、従来計画のものです。

## 基礎情報・建築概要

伊東市の人口	: 64,831人(R6.7月末現在)	敷地面積	: 4,012.29㎡
1冊当たりの図書購入単価	: <b>2,384円</b> (R3～R5の平均)	延床面積	: 5,704.41㎡
		[施設屋内]	3,887.91㎡
		[1F屋内駐車場]	1,491.79㎡
所在地	: 伊東市桜木町二丁目地内 (マンダリンホテル跡地)	[軒下・広場等]	324.71㎡
規模	: 鉄骨造一部RC造5階建て (駐車場は1階部のみ)	収容冊数	: 約25万冊(現在:約20万冊)
		駐車台数	: 約90台

## 概算費用

本体建築工事(家具設置工事含む)	: 42.0億円
本体外設備・備品家具・カーテン・書籍・ICT導入経費等	: 3.9億円
開館準備経費(移転作業・ICT貼付等業務含む)	: 1.4億円
運営費用(人件費・施設管理費・光熱水費・ICT関連経費含む)	: 2.4億円(年間)

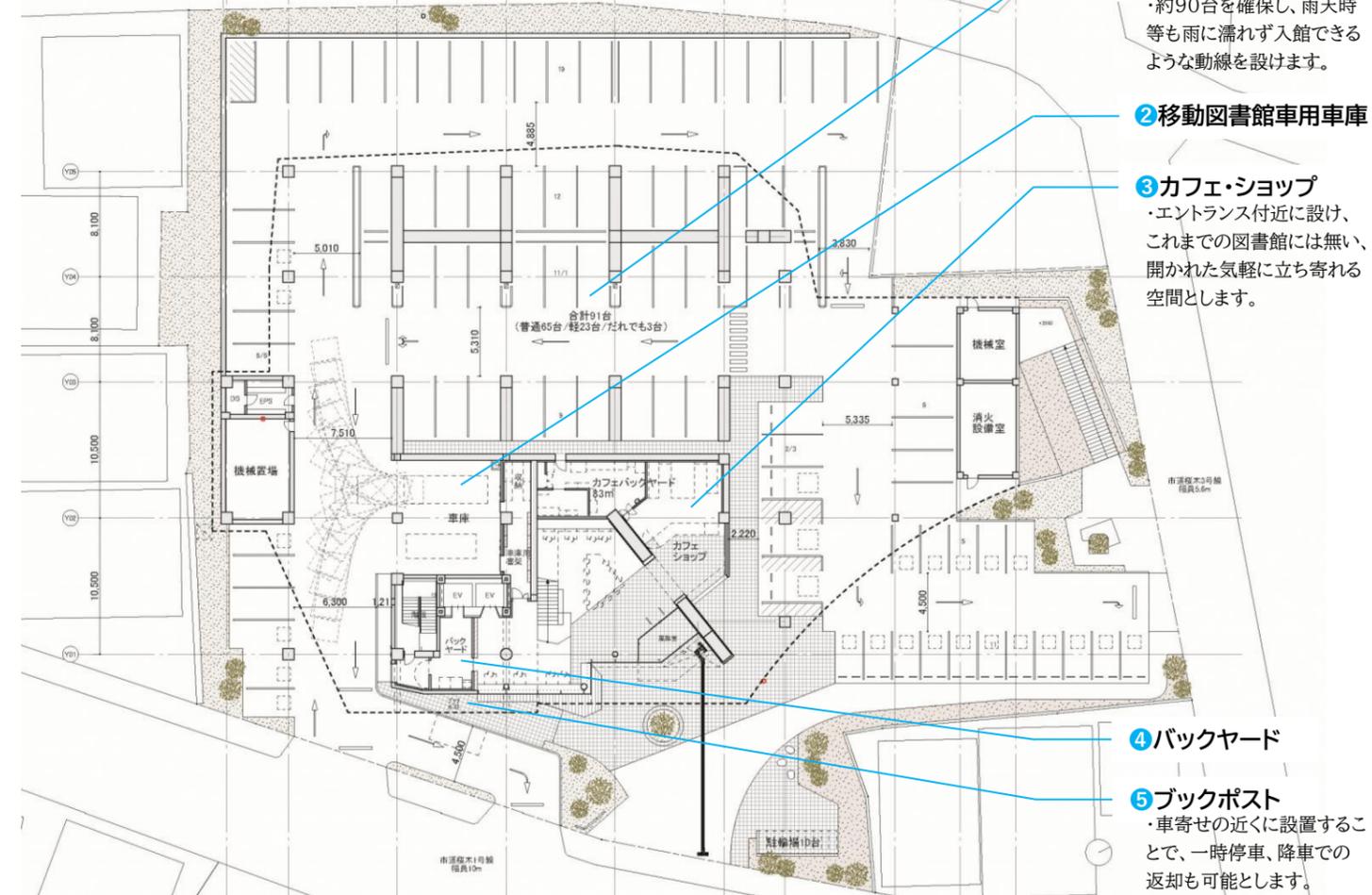
## 50年間の想定費用と負担額

【※人件費・物価上昇等は見込まず設定しています。】

想定費用(建設費・人件費・維持管理料等)	: 約167.3億円
現人口で推移した場合の1人当たりの月額負担額(想定)	: 約430円

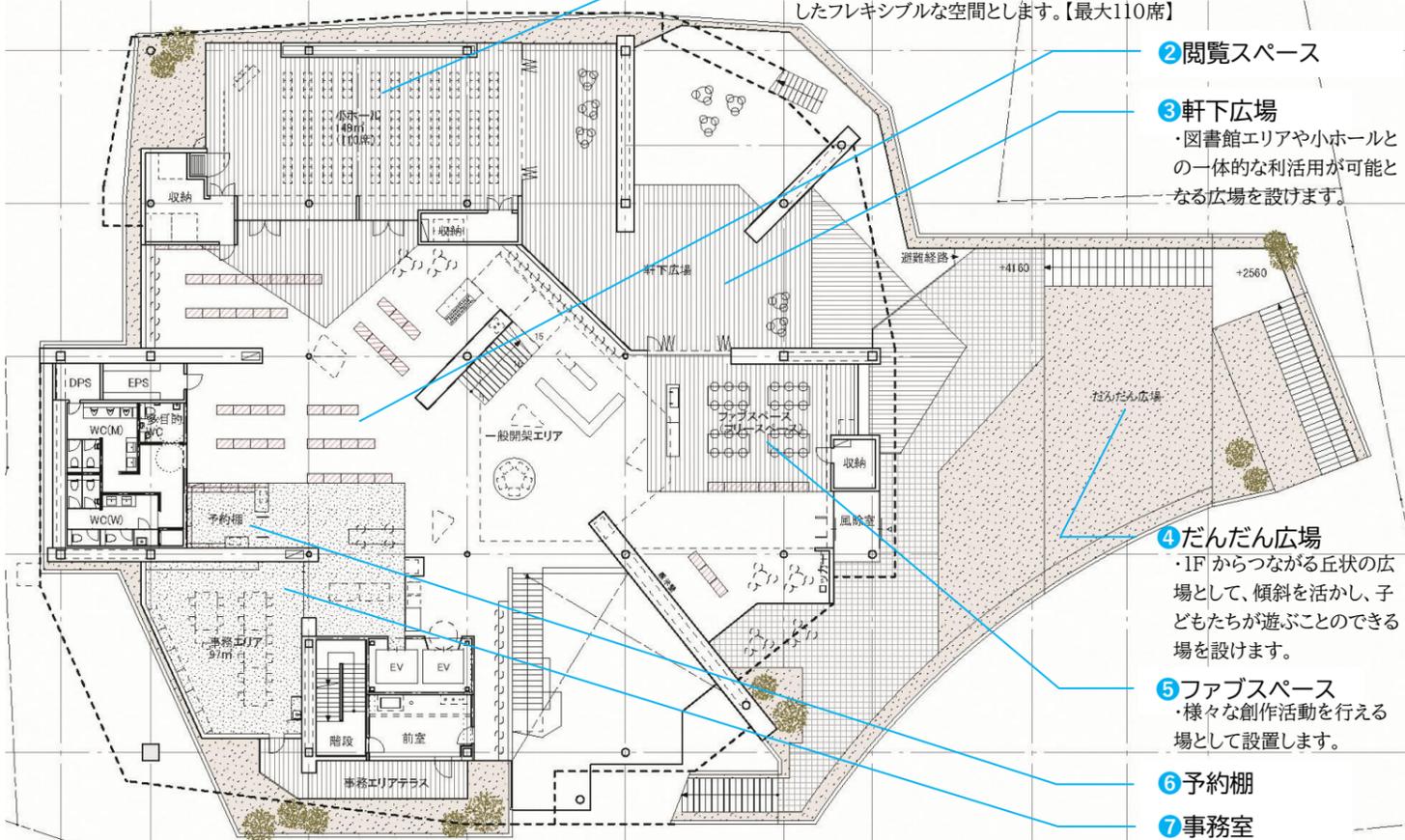
※事業費等については、基本設計時点(再設計)での概算であり、最終的な金額とは異なります。

## 1F 施設の顔となる憩いのフロア



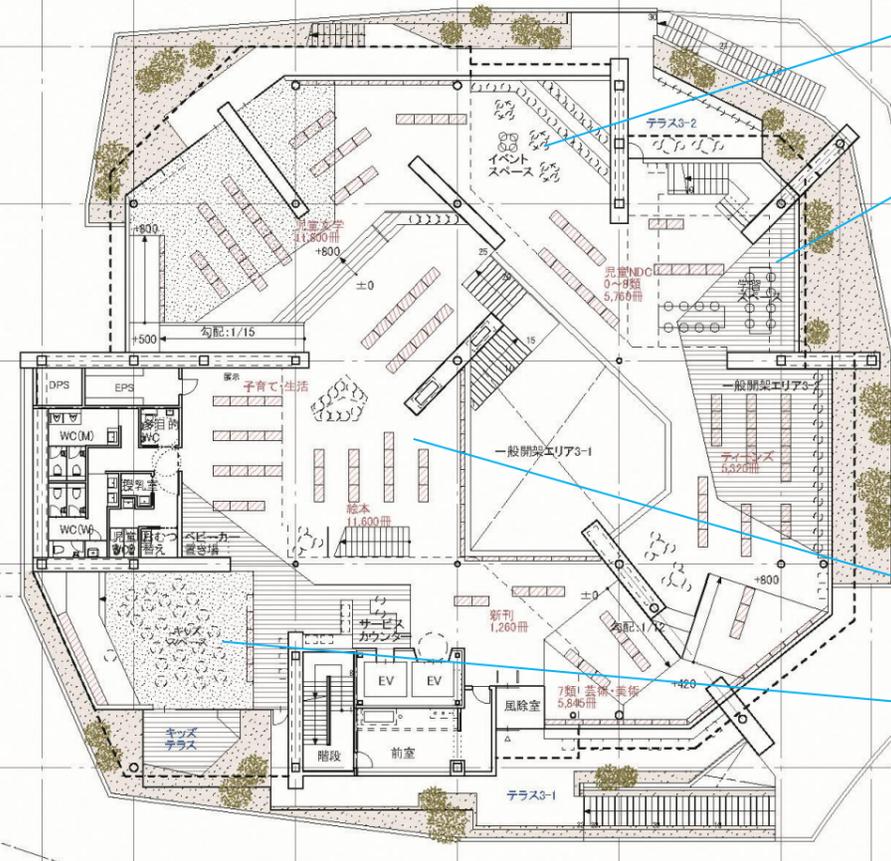
- ① 駐車場
  - ・約90台を確保し、雨天時等も雨に濡れず入館できるような動線を設けます。
- ② 移動図書館専用車庫
- ③ カフェ・ショップ
  - ・エントランス付近に設け、これまでの図書館には無い、開かれた気軽に立ち寄れる空間とします。
- ④ バックヤード
- ⑤ ブックポスト
  - ・車寄せの近くに設置することで、一時停車、降車での返却も可能とします。

## 2F 丘とつながる創造のフロア



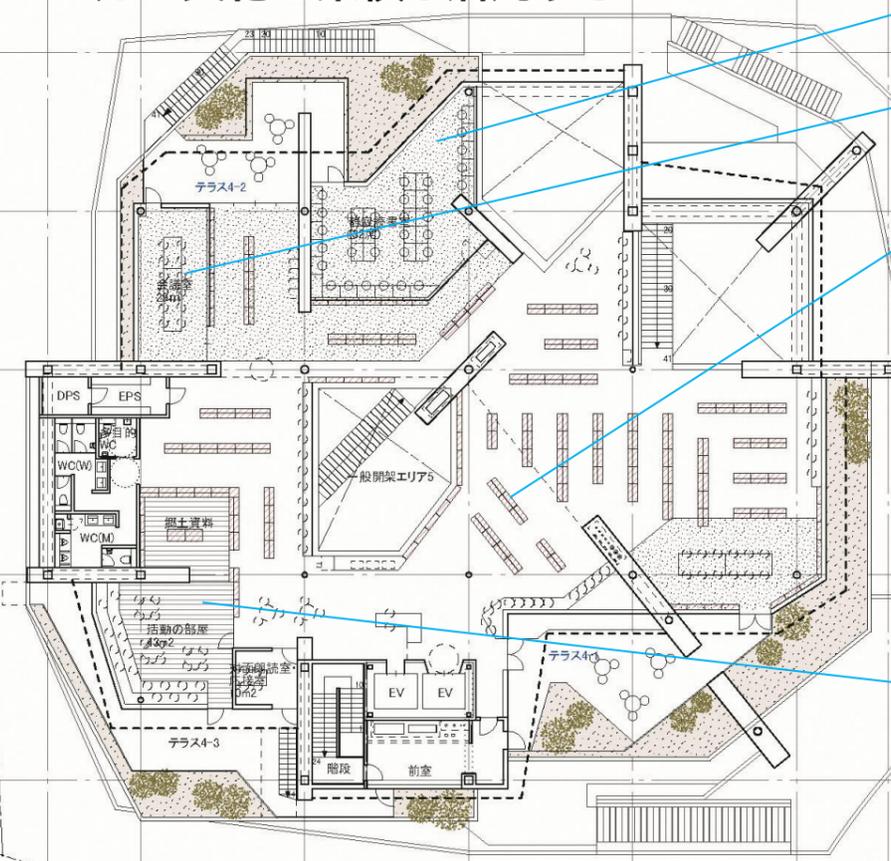
- ① 小ホール
  - ・間仕切りによる2室化や軒下広場との一体利用など、多様な活動を想定したフレキシブルな空間とします。【最大110席】
- ② 閲覧スペース
- ③ 軒下広場
  - ・図書館エリアや小ホールとの一体的な活用が可能となる広場を設けます。
- ④ だんだん広場
  - ・1Fからつながる丘状の広場として、傾斜を活かし、子どもたちが遊ぶことのできる場を設けます。
- ⑤ ファブスペース
  - ・様々な創作活動を行える場として設置します。
- ⑥ 予約棚
- ⑦ 事務室

### 3F 成長と好奇心のフロア



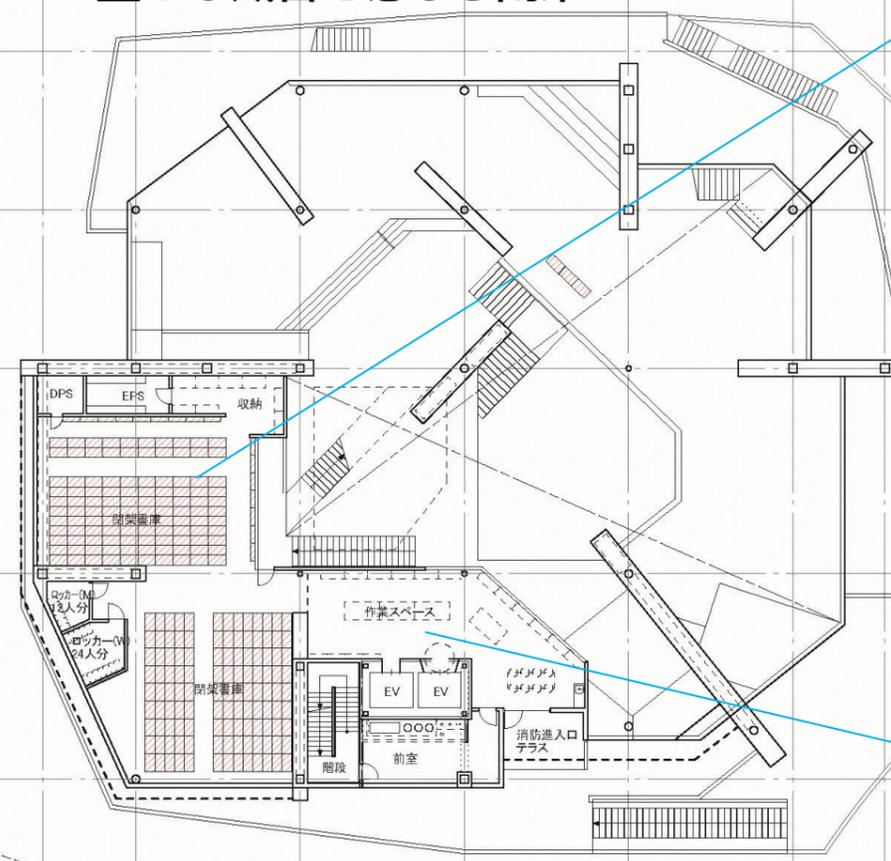
- ① イベントスペース  
・段差を利用し、多世代のイベントを行える空間とします。
- ② 学習スペース  
・オープンスペースの中でも、落ち着きのある集中しやすい空間とします。
- ③ 児童・ティーンズ資料 (開架・閲覧スペース)
- ④ キッズスペース  
・テラスに連続した明るいスペースとすることで、子どもたちが安心して遊ぶことができる場とします。

### 5F 知と文化を集積し活用するフロア



- ① 静寂読書室  
・読書に集中できる落ち着いた空間とします。
- ② 会議室
- ③ 一般資料・郷土資料 (開架・閲覧スペース)
- ④ 活動の部屋  
・郷土資料などの図書資料を活用した講座等を行うことができるスペースとします。

### 4F 豊かな蔵書を感じる閉架フロア



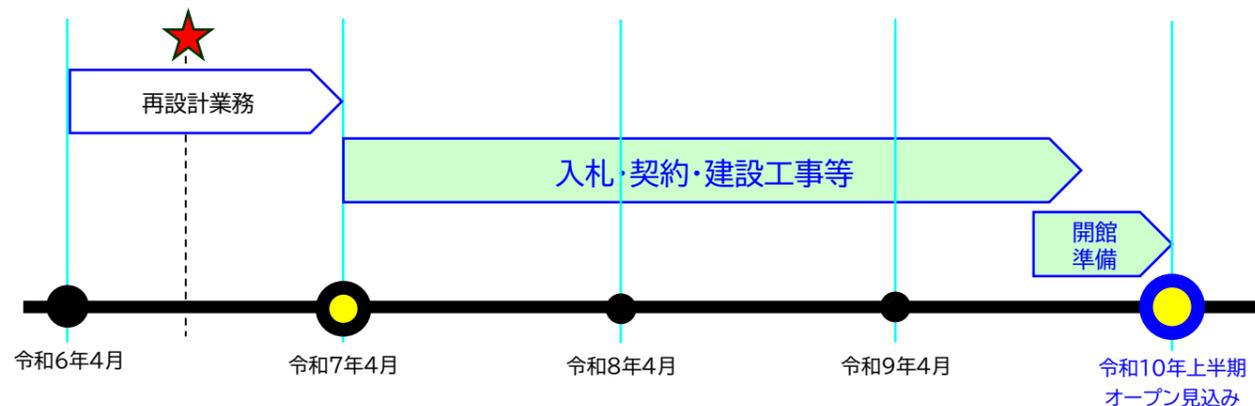
- ① 閉架書庫  
・利用者フロアからも豊かな蔵書を感じることができる空間とし、3階から5階への途中で閉架書庫内が見える計画とします。  
・書庫を集約し、3階と5階の間に配置することで、出納のしやすい計画とします。
- ② 作業スペース

## コンセプト

# 『夢と未来を育む図書館』 ～ひとりひとりの創造拠点～

伊東市の知・文化・歴史・自然を収集記録し、発信し続けることで、「この図書館があるから伊東市に行ってみたい、住んでみたい、住んでいたい」と思われる図書館を目指します。

## 建設スケジュール(最短)



※スケジュールは最短での想定で、実際とは異なる可能性があります。